

主要コンテナ航路の荷動き動向 (速報値※)

(公財)日本海事センター・企画研究部

(公財)日本海事センター・企画研究部は、PIERS (Port of Import/Export Reporting Service) の統計データを基に、『日本・アジア / 米国間のコンテナ貨物の荷動き動向』を毎月発表しております。それに加えて、欧州航路、日中航路、アジア域内航路の荷動き動向も発表しております。

主要航路の荷動きのポイント

北米航路

往航 (2019年3月) 1,218,834TEU (0.9%増) (2018年3月: 1,208,186TEU)

・《ASEAN、南アジアなどの増加の一方、家具・繊維を中心に中国発貨物 10.8%減》

復航 (2019年1月) 553,158TEU (6.5%増) (2018年1月: 519,591TEU)

・《中・印向けは減少もそれ以外は大幅増、飼料、合成樹脂を中心に増加》

■ 北米往航 (アジアから米国) は、前年比 0.9%増で 2 か月振りのプラス。2019年3月の中国 (塩田) - ニューヨーク間の運賃は前年比 19.5%増の 2,210 ドル/TEU で 10 か月連続のプラス。

■ 北米復航 (米国からアジア) は、前年比 6.5%増で、3 か月振りのプラス。2019年3月のニューヨーク-中国 (塩田) 間の運賃は前年比 15.9%増の 800 ドル/TEU で 9 か月連続のプラス。

欧州航路

往航 (2019年2月) 1,030,127TEU (14.7%減) (2018年2月: 1,208,096TEU)

・《日本の好調は変わらず、これまで好調だった東南アジアが減速》

復航 (2019年2月) 615,055 TEU (0.9%増) (2018年2月: 609,572TEU)

■ 欧州往航 (アジアから欧州) は前年比 14.7%減で 7 か月振りのマイナス。2019年3月の中国 (塩田) - 英国 (フェリックストウ) 間の運賃は、前年比 7.3%増の 1,170 ドル/TEU で 2 か月振りのプラス。

■ 欧州復航 (欧州からアジア) は前年比 0.9%増で 2 か月連続のプラス。2019年3月の英国 (フェリックストウ) - 中国 (塩田) 間の運賃は前年比 7.2%減の 900 ドル/TEU で 12 か月連続のマイナス。

日中航路

往航 (2019年2月) 838,464 トン (22%増) (2018年2月: 687,206 トン)

復航 (2019年2月) 1,508,615 トン (17.4%減) (2018年2月: 1,826,598 トン)

■ 日中往航 (日本から中国) は、前年比 22%増で 2 か月振りのプラス。金額ベースでは前年比 14.5%増の 6,600 億円で 3 か月振りのプラス。2019年3月の横浜-上海間の運賃は前年比 23.7%増の 470 ドル/TEU で 7 か月連続のプラス。

■ 日中復航 (中国から日本) は、前年比 17.4%減で 2 か月振りのマイナス。金額ベースでは前年比 18.1%減の 8,957 億円で 11 か月振りのマイナス。2019年3月の上海発-横浜向の運賃は前年比 1.5%減の 640 ドル/TEU で 7 か月振りのマイナス。

アジア域内航路

(2019年2月) 2,699,500 TEU (6.2%減) (2018年2月: 2,879,300TEU)

■ CTS 社による集計では、前年比 6.2%減となる 270 万 TEU で 11 か月振りのマイナス。2019年3月のアジア域内コンテナ運賃指数 (US\$/FEU) は前年比 6.9%増の 817 ドル/FEU で 3 か月連続のプラス。

なお、アジア域内航路を取りまとめている IADA は 2018年2月末をもって休止。

注1: 速報値ベースでの発表のため、後に修正が加わる場合がある。

注2: 日中航路荷動き量は財務省「貿易統計」をもとにした(公財)日本海事センターによるトンベースでの推計。

注3: 運賃指数は Drewry, *Container Freight Rate Insight*, 2018 に基づく

図 - 1 北米航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

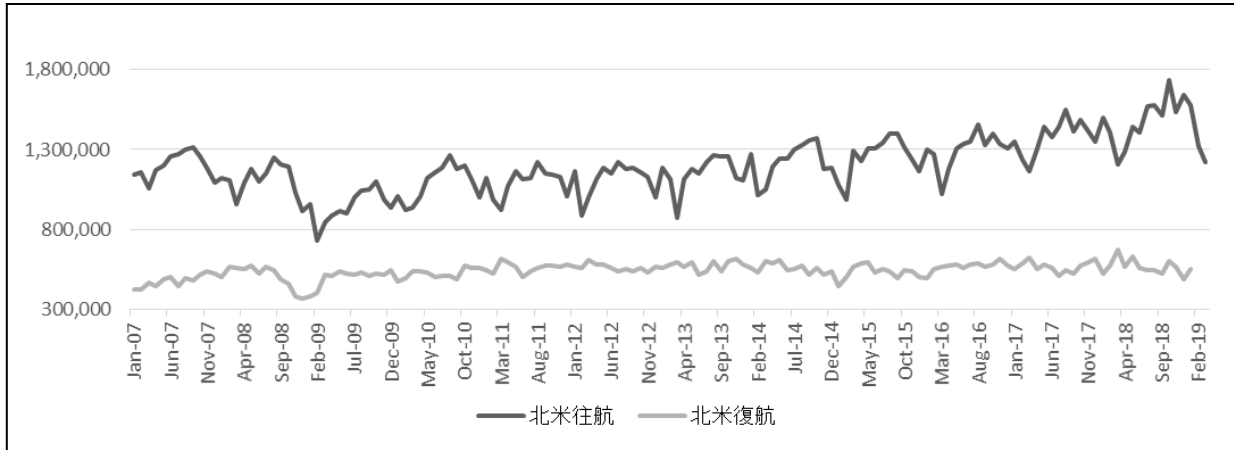


図 - 2 欧州航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

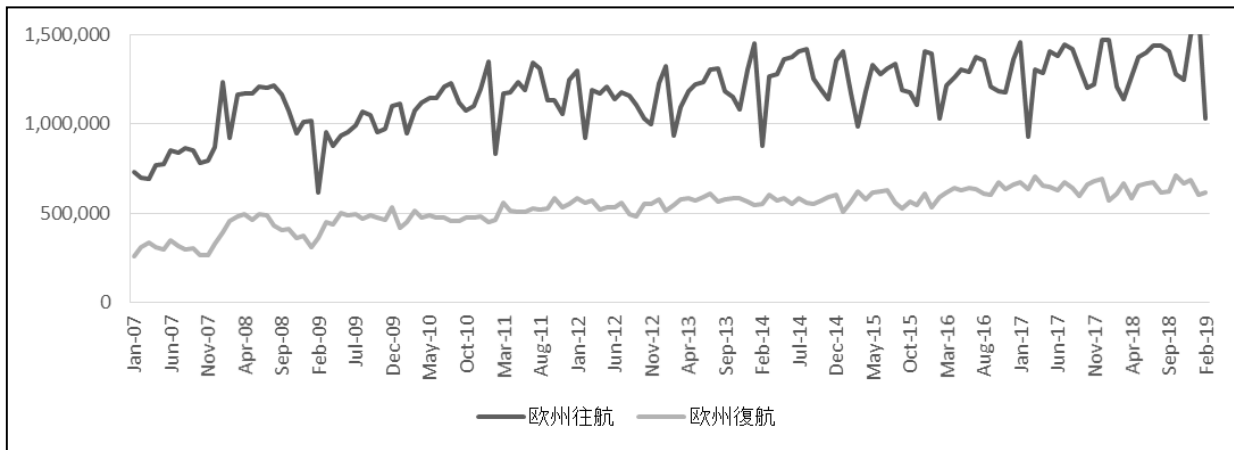


図 - 3 日中航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: トン)

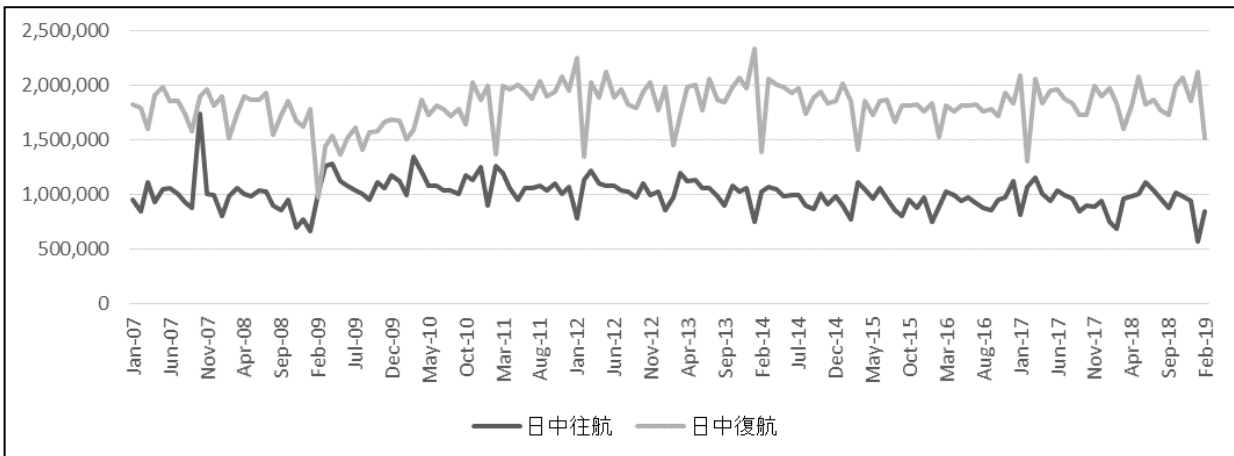


図 - 4 アジア域内航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位 : TEU)

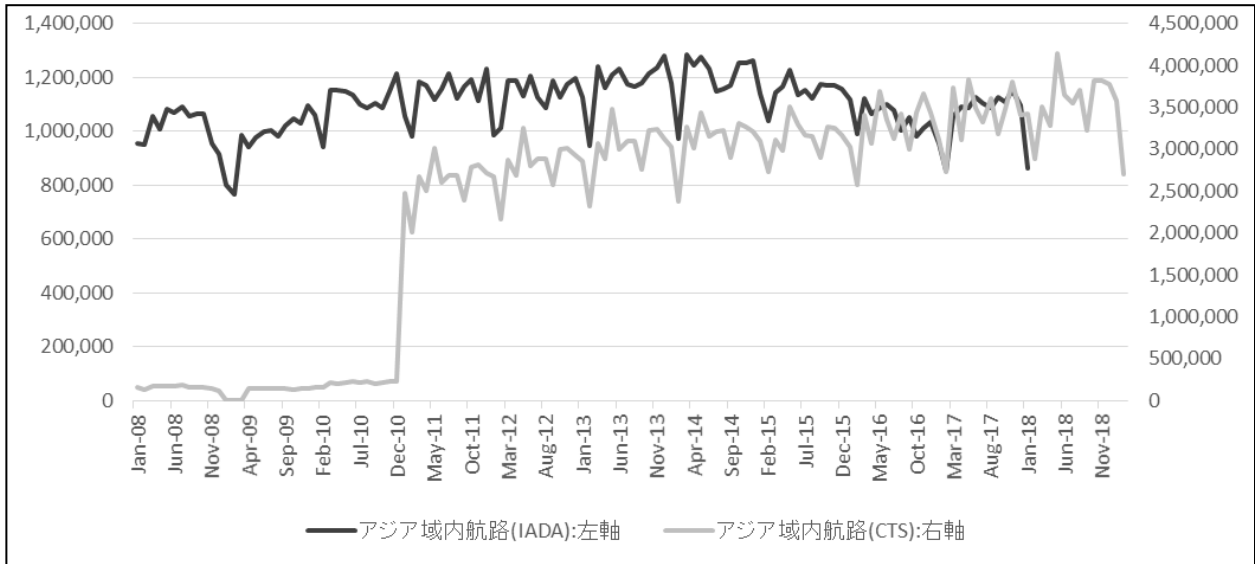


図 - 5 北米航路における運賃指数の推移 (単位 : ドル/TEU)

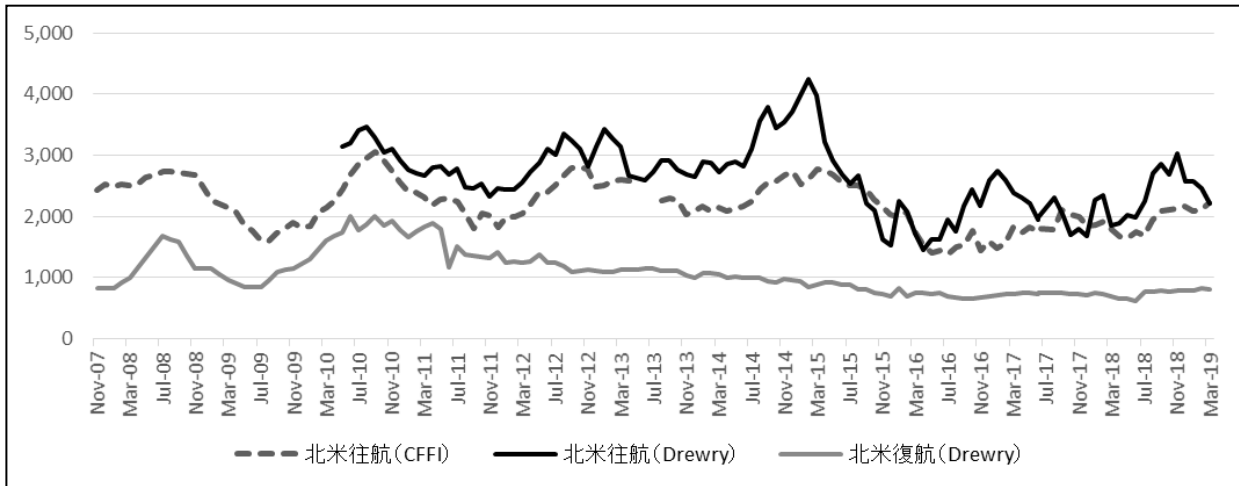


図 - 6 欧州航路における運賃指数の推移 (単位 : ドル/TEU)

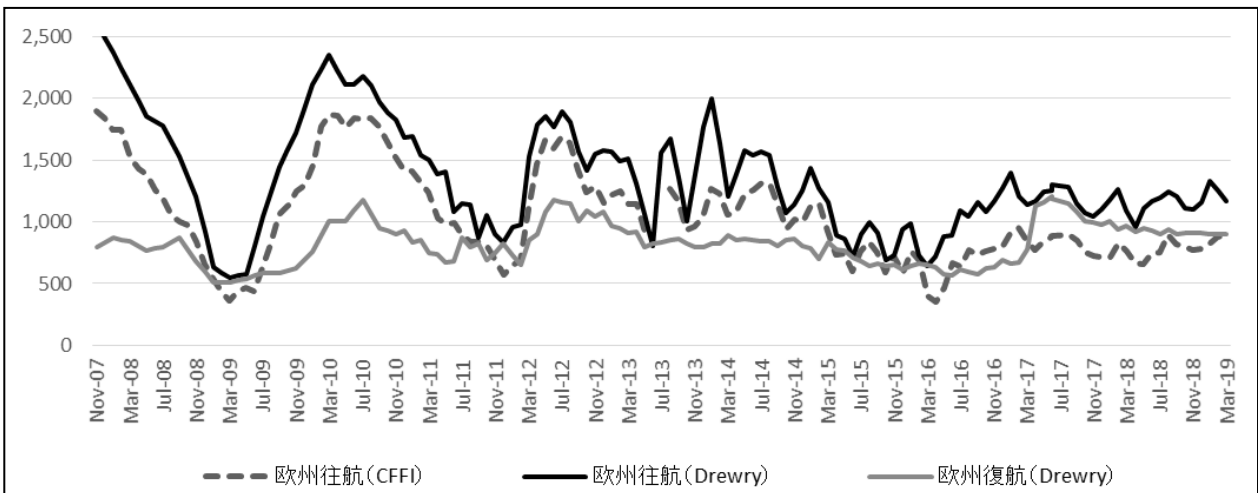
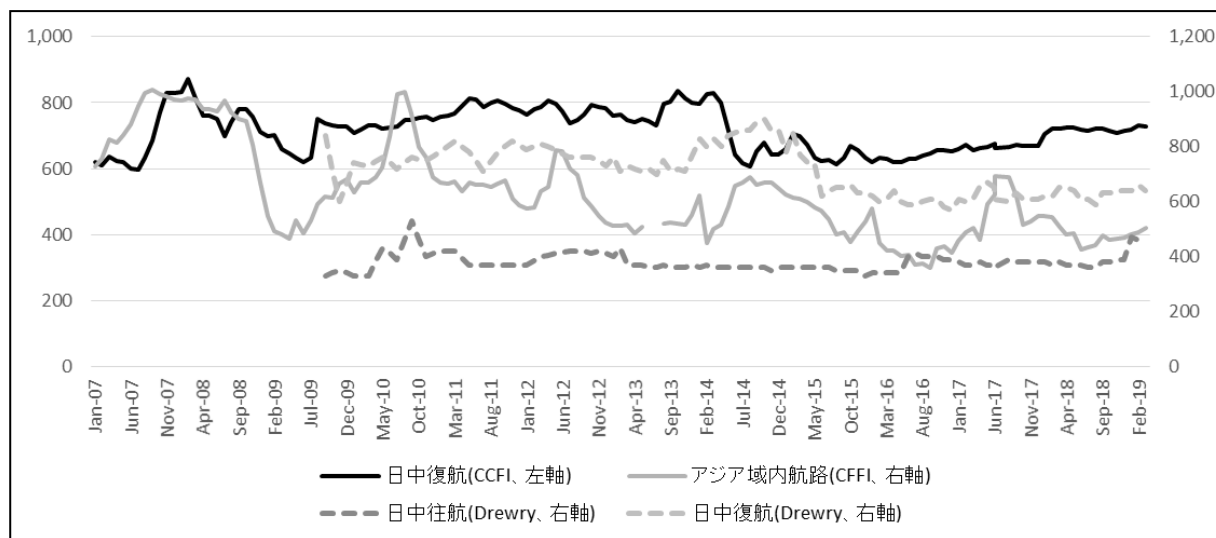


図 - 7 日中航路・アジア域内航路における運賃指数の推移 (単位 : 指数 (左軸)、ドル/TEU (右軸))



(参考) 輸送量・運賃データの出所

- 1.北米航路輸送量 : PIERS (Port Import/Export Reporting Service) データ
- 2.欧州航路輸送量 : Container Trade Statistics Ltd.
- 3.アジア域内航路輸送量 : IADA アジア域内配船主要船社取りまとめデータ、Container Trade Statistics Ltd. (CTS 社)
- 4.日中航路輸送量 (トンベース) : (公財) 日本海事センター企画研究部 (注意 : 財務省貿易統計に基づきトンベースで推計)
- 5.北米航路、欧州航路運賃指数 (往航では (CI,Drewry) と示した列、復航) : Drewry “Container Freight Rate Insight”:南中国 (塩田) と米国東岸 (ニューヨーク)、英国 (フェリックストウ) 間の運賃
- 6.北米航路、欧州航路運賃指数((CFFI) と示した列) : 中国国際海運網ウェブサイト <http://en.shippingchina.com/scfi/index/index.html>
- 7.アジア域内航路運賃指数 (毎月) : 中国国際海運網ウェブサイト (中国・東南アジア間航路の運賃指数) Drewry “Container Freight Rate Insight”:Intra-Asia Freight Rate Index(US\$/FEU)
- 8.日中航路運賃指数 :
 - ・ Clarkson Research “China Intelligence Monthly“ (上海航運交易所発表の中国輸出コンテナ運賃指数 ((CFFI) と示した列)) :
 - ・ **Drewry “Container Freight Rate Insight” (中国 (上海) と東京/横浜間の運賃) : 2014 年 4 月発表の資料より変更**
- 9.BDI (バルチック海運指数) :
 - ・ トランプデータサービス "World Maritime Analysis"
- 10.円ドルレート :
 - ・ FRB ウェブサイト <http://www.federalreserve.gov/econresdata/releases/statisticsdata.htm>